



「うちどく」のすすめ方の参考例です。

1. 家族で話し合って「うちどくの日」を決めよう。
2. 我が家の家読スタイルを話し合って決めよう。
3. 家族で話し合って読む本を決めよう。
4. ノーテレビ・ノーゲームで家読をしよう。
5. 年齢に合ったスキンシップをとりながら家読をしよう。
6. 我が家の家読の記録を残そう。
7. 家族の読書体験を語ろう。
8. 家庭文庫を作ろう。
9. 図書館に行こうデーをつくろう。
10. 家読の輪を広げよう。

うちどく.com より

こんな楽しみ方もありますよ♪

☆家族でうちどくクイズにチャレンジしてみよう!

1 「桜守のはなし」からです。
たねから育つさくらは3つしかありません。
たねから育つことができないさくらは、どれでしょう

- ① 菊桜 ② 山桜 ③ 大島桜 ④ 彼岸桜

2 「いのちのおはなし」からです。
ひのはら先生は、「いのち」はなにと言っていますか？

- ① 大切 ② 買えない ③ 時間 ④ 1つ



クイズの答えは、こちらから

うちどくクイズ しなやかな心

検索

http://www.pref.yamanashi.jp/shakaikyo/shinakoko/syakyo_torikumi.html

- ◆平成28年12月
- ◆編集 「家読100選」選定委員会
- ◆発行 山梨県教育委員会 社会教育課

〒400-8504 甲府市丸の内1丁目6番1号
TEL 055-223-1773 FAX 055-223-1775
<http://www.pref.yamanashi.jp/shakaikyo/index.html>



平成28年度

山梨県立図書館
館長 阿刀田 高 監修

家読100選

山梨県教育委員会 しなやかな心の育成推進事業

小学校3・4年生向け

昨年度
うちどくポップ展
入賞作品



一緒に読みませんか部門優秀賞
「りんごがもしれない」
(ヨシタケシンスケ/作 スロンス新社)
豊小学校 深沢 碧さん



一緒に読みませんか部門優秀賞
「カッパもやっぱりキュウリでしょ?」
(シゲタサヤカ/作 講談社)
中道南小学校 小林 ころろさん



家族で読んだよ部門優秀賞
「はらぺこあおむし」
(エリック・カール/作 偕成社)
谷村第二小学校 田中 優輝さんと家族



家族で読んだよ部門優秀賞
「おまえうまそうだな」
(宮西達也/作 ポスラ店)
栄小学校 佐野 志穂さん・結菜さんと家族

山梨県教育委員会
「家読100選」選定委員会



←読んだら、好きな色でぬってね！



- ①車のいろは空のいろ 白いぼうし**
 ②あまんきみこ／作 北田卓史／絵
 ③ポプラ社 2000年
 ④子どものときに読んだことのあるお家の方も多いのでは。今度はお子さまと一緒に楽しみませんか。

リストの見方です

- ←①作品名です。
 ←②作者名です。
 ←③出版社名、発行年です。
 ←④家読をするときのヒントです。ご家族で、本を読むときの参考にしてください！



ちょっとだけ弟だった 幸太の犬
 東多江子／作 宮尾和孝／絵
 そうえん社 2010年
 捨て犬の預かりボランティアを始めた家族の物語。生き物を飼う責任について考えるきっかけになるかも。



ねこさんかぞくの みどりのカーテン
 津田直美／作・絵
 ブロンズ新社 2009年
 作者一家が実際に育てた緑のカーテン。その様子を描いた絵本なので、我が家も挑戦！という家庭にぴったり。

おじいちゃんが おおきになつたわけ

キム・フォップス・オカツ／文
 ゴア・ワカ／絵 菱木晃子／訳
 あすなろ書房 2005年
 大好きな人との悲しい別れ…。でも、あなたはこんなに愛されていたんだよと、伝えてあげたいときに。



ポリート はらぺこオオカミ

キャサリン・ストー／作
 掛川恭子／訳
 岩波書店 1979年
 昔話をもとにした楽しいお話集。お子さまの知らない昔話があったら、そのお話も教えてあげてくださいね。



「和」の行事えほん (全2巻)
 高野紀子／作
 あすなろ書房 2006～2007年
 四季折々にお子さまと一緒にながめ、楽しみながら日本の行事を伝えていけたらいいですね。



おひさまいろのきもの
 広野多珂子／作・絵
 福音館書店 2007年
 お母さんの立場で読んで、子どもの立場で読んで、きっと心が温かくなってくると思います。

ウェン王子とトラ

チェン・ジャンホン／作・絵
 平岡敦／訳
 徳間書店 2007年
 二人の母（お后とトラ）と王子の絆から、「愛」は憎しみや暴力に勝ることに気付いてくれたら…。



エパミナンダス

東京子ども図書館／編
 東京子ども図書館 1997年
 ‘耳で聞く’楽しさが味わえるお話を集めた本です。ぜひ、読み聞かせをしてあげてほしいと思います。



砂上の船 水上の家
 会田法行／写真・文
 ポプラ社 2010年
 時には環境問題についてお子さまと話をしてみませんか。写真が静かに、でも、力強く語りかけてきます。



1つぷのおこめ
 デミ／作
 さくまゆみこ／訳
 光村教育図書 2009年
 毎日、倍々に増えていくお米の数。だんだん大きくなっていく数字と一緒に数えながら読んであげてください。



帆かけ舟、空を行く
 ケンティン・ブレイク／作
 柳瀬尚紀／訳
 評論社 2007年
 最後に、帆かけ舟はどこに向かったのでしょうか…。それぞれが自分の思いを話し合ってみませんか。

赤ちゃんのはなし

マリイ・ホル・エッツ／文・絵
 坪井郁美／訳
 福音館書店 1982年
 きょうだいが生まれてくるときなどに、ぜひ。家族と一緒に、命の不思議と大切さを感じてくださいね。



旅の絵本 (1～8)

安野光雅／著
 福音館書店 1977～2013年
 風景の中に散りばめられた史跡やお話の数々。おとなが案内してあげると、きっと旅が一段と楽しくなります。



富士山大ぼくはつ

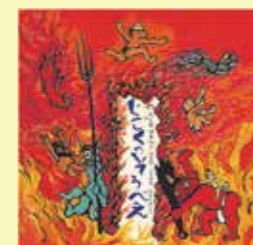
かこさとし／作
 小峰書店 1999年
 せっかく山梨に住んでいるのですもの。世界文化遺産の富士山のこと、もっとみんなで調べてみませんか。



いのちのおはなし
 日野原重明／文
 村上康成／絵
 講談社 2007年
 「命を大切に生きてほしい。」そんな親の願いを、この絵本でお子さまに伝えてみませんか。

桜守のはなし

佐野藤右衛門／作
 講談社 2012年
 春はもちろんです、きつとこれからは夏や秋のお散歩のときも、桜に目がいくようになるのでは。



じごくのそうべえ
 田島征彦／作
 童心社 1978年
 おとなも童心に戻って絵本を楽しんでみませんか。きつと、みんなで大笑いできると思いますよ。

干し柿

西村豊／写真・文
 あかね書房 2006年
 山梨の特産品の干し柿。秋には家族みんなで干し柿づくりを楽しんでみてはいかがでしょう。



作 品

作 / 絵 / 訳

発行年

出版社

作 品	作 / 絵 / 訳	発行年	出版社
セミの一生	橋本治二／文 佐藤有恒／写真	2005	あかね書房
やかまし村の子どもたち	アストリッド・リッドグレン／作 大塚勇三／訳	1965	岩波書店
オオカミの森 旭山動物園物語	小菅正夫／文 あべ弘士／絵	2009	角川書店
博物館の一日	いわた慎二郎／作・絵	2012	講談社
子どもに語るアラビアンナイト	西尾哲夫／訳・再話 茨木啓子／再話	2011	こぐま社
みんなあかちゃんだった	鈴木まもる／作	2000	小峰書店
吉四六さん	小澤昔ばなし大学再話研究会／再話 小澤俊夫／監修 二俣英五郎／絵	2011	小峰書店
プレゼント	おとたけひろただ／ぶん さわたとしき／え	2000	中央法規出版
3びきのかわいいオオカミ	ユージ・ツトリビザス／文 ルン・カセバリー／絵 こたまとこ／訳	1994	富山房
わすれられないおくりもの	スザン・バーレイ／さく・え 小川仁央／やく	1986	評論社
ドングリ山のやまんばあさん	富安陽子／作 大島妙子／絵	2002	理論社

このリストには、「子どもと一緒に読みたい本、友だちや家族に読んでほしい本」について、山梨県内の方々からご応募いただいた作品ものをせています。